

<対策のポイント>

我が国の果樹産地の生産体制を強化するため、**省力樹形への新植・改植等の取組への支援を強化**します。また、**労働生産性を抜本的に高めたモデル産地を育成**するため、水田の樹園地への転換や既存産地の改良を通じて、**まとまった面積での省力樹形・機械作業体系の導入等**と併せて、**早期成園化や成園化までの経営の継続・発展等の取組をパッケージで支援**します。

<政策目標>

果樹産地における労働生産性の向上（労働時間当たり生産量の10%向上 [令和12年度まで]）

<事業の内容>

1. 優良品目・品種、省力樹形等の導入支援

優良品目・品種への新植・改植と、それに伴う未収益期間における幼木の管理経費への支援を行います。特に、**平坦で作業性の良い水田等への新植や、労働生産性を向上させることが可能な省力樹形向けの支援単価を新設**します。

<支援単価の例（括弧内は新植の支援単価）>

品目	慣行栽培	省力樹形栽培		未収益期間対策 (幼木管理経費)
		根域制限栽培 (みかん)	超高密植栽培 (りんご)	
かんきつ	23 (21) 万円/10a	111 (108) 万円/10a (根域制限栽培)		5.5万円/10a × 4年分 (品目共通)
りんご	17 (15) 万円/10a	53 (52) 万円/10a (高密植低樹高栽培)	73 (71) 万円/10a (超高密植栽培)	
なし	17 (15) 万円/10a	33 (32) 万円/10a (ジョイント栽培)		

<事業イメージ>

1 省力樹形の導入支援

省力樹形の特長

- 小さな木を密植して、直線的に配列するため、**作業動線が単純で効率的**。
- 密植することで、**高収量化**が可能。
- 日当たりが均一となり、**品質が揃いやすい**。
- 成木までの期間が短いことから、**早期成園化**が可能。

根域制限栽培
(みかん)



慣行比
2倍以上
の収量

超高密植栽培
(りんご)



慣行比
1.7倍
以上の
収量

ジョイント栽培
(なし)



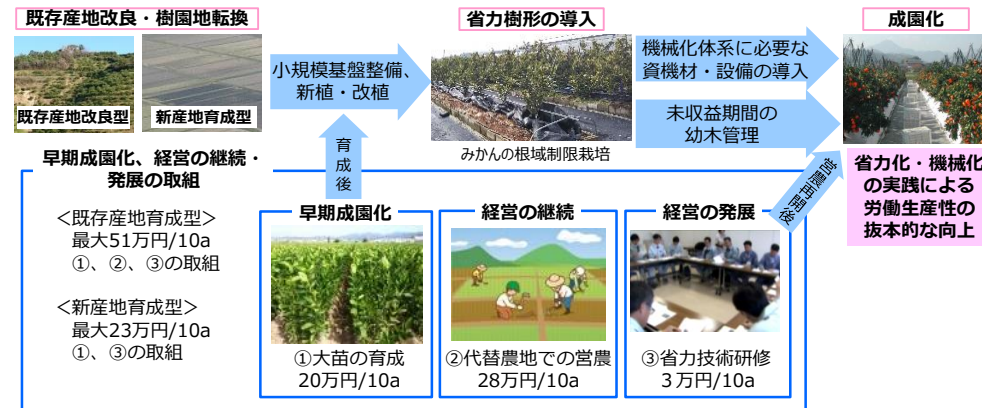
剪定作業
時間40%
短縮可能

2. 労働生産性を抜本的に高めた果樹のモデル産地形成支援

一定規模以上（2ha以上（基盤整備を行う場合は5ha以上））での**水田の樹園地転換**や**既存産地の改良**と併せて、次の取組を支援します。

- 小規模基盤整備に要する経費（盛土、園内道の整備等）
- 新植・改植、それに伴う**幼木管理**に要する経費（省力樹形の導入等）
- 早期成園化、経営の継続・発展の取組に要する経費（最大51万円/10a）
- 機械作業体系に必要な**資機材・設備の導入**に要する経費

2 未来型の果樹産地形成支援



【お問い合わせ先】生産局園芸作物課（03-3502-5957）

<事業の流れ>

